

令和4年度 測量士試験 午前 問題と解答 No13 (水準測量)

<R04-No13 : 水準測量 : 問題>

図13 に示す水準点 A ~ D において、(1)~(6)の路線で水準測量を行い、表13 の観測高低差を得た。環閉合差を点検した結果から判断して、再測すべき路線として最も適当なものはどれか。次の中から選べ。

ただし、環閉合差の許容範囲は $5 \text{ mm}\sqrt{S}$ (S は観測距離, km 単位) とする。

なお、関数の値が必要な場合は、巻末の関数表を使用すること。

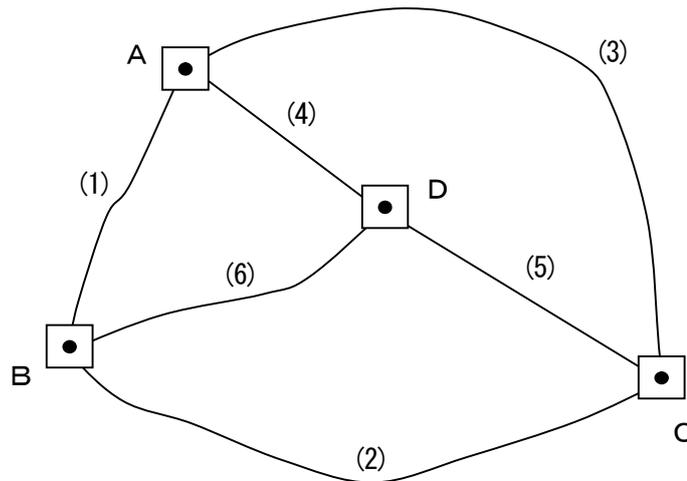


図13

表13

路線	自水準点	至水準点	観測高低差	観測距離
(1)	A	B	+14.393 m	18 km
(2)	B	C	-38.341 m	32 km
(3)	C	A	+23.984 m	48 km
(4)	A	D	+7.185 m	9 km
(5)	D	C	-31.158 m	12 km
(6)	D	B	+7.270 m	16 km

1. 路線 (1)
2. 路線 (2)
3. 路線 (4)
4. 路線 (5)
5. 路線 (6)